

本年七月及八月俸給
初更改正ノ河内省
印ノ裁久ノ事有クシ

十月七日 八年

工部本省及各寮技術非職ノ者規定ヲ設ク

工部省上申

當省並各寮技術ノ者事業ノ繁閑自カラ有之閑ナル
時ハ非職申付非職中ハ日々本廳へ出頭俗務為取扱
候様可致就中工學寮生徒ノ儀熟達ノ者ハ兼テ規則
ノ通技術官ニ撰舉相成奉職年限モ有之解期モ施シ
難ク夫是勘辨致別命ノ通規則相定メ施行致候此段
致上申置候也 十月七日
工部

技術非職ノ者規定

一本省並各寮共技術同見習ノ者事業ノ有無ニ依テ
非職申付ヘシ

一非職中タリヒ日々本廳へ出頭シ俗務取扱ヲナス

大文頭典

ハシ

一非職中其等級相當ノ月給三分ノ二ヲ十五日前後ノ區分ヲ以テ支給スヘシ

一非職中昇級等申付事業ニ従事セサルハ増月給前條ノ通タルヘシ

一非職中病氣瘧省或ハ紕彈其外事故アルトキハ三分ノ二ヲ以全額ト見做シ月俸規則ニ照準支給スヘシ

一非職中免職又ハ病死等ノ節滿年賜金其等級相當ノ本給ヲ以テ支給スヘシ

但非職中ノ月數モ滿年ノ計算ニ算入スヘシ

右

一電信察電機技術ノ者ハ此例ニアラス

法制局議案 史官本局歴査

別命工部省上申技術ノ者非職中月給其外ノ儀ニ付テノ規則審按候処右ハ全ク工部省技術ノ者ニ限リ候事ニテ別段他ニ関係モ無之儀ニ付此終供高覽候也 十月十日

大政類聚